

1 期日 6月11日（日）

2 場所 佐久市立岩村田小学校 第1理科室

3 内容

(1)「水溶液の性質」（6年生）について

茨城県小学校教諭 宮内 主斗先生の実戦から

①学習指導案から

指導案前段、宮内先生が子どもたちに対して、日頃からどのようなことを大切に指導をされているかについて。

②授業映像を視聴して（「金属は酸性の水溶液で変化するか？」について）

③玉田泰太郎先生の授業の「気体と燃焼」について

どちらの授業も授業の始まり方からして無駄のない問題提示がされていた。選択肢を提示して、子どもたちは7～8分黙々と自分の考えを書いて行く。考えの発表の後で、再び考えを書く。というように、授業の中に沢山自分の考えを書く場を確保している。アウトプットさせることで、子どもたちの思考は深まって行くのだらうと、改めて思った。

4 「レインボーカクテルを作ろう」（5年生）について

北相木小学校 依田 裕一先生の実践から

①指導案から 単元のおおよその流れについての確認

②実習（レインボーカクテルづくり）

依田裕一先生は、以前信州理研松本大会でレインボーカクテルで授業を行われた。それ以降「自分のワイフワークだから」と言って、この単元ではレインボーカクテルに取り組まれている。その姿勢を見習って、私も研究授業で作ったこの実験器具を大切に保管し、いつでも授業で授業で使えるようにしておいた。今回、土曜参観日の際の実験教室を行ったが、内容はともかく、親子で夢中になって取り組む姿が見られて本当に良かったと思う。

5 まとめ

今回、お忙しい中にも関わらず、全部で4名での会となった。大変こぢんまりした講座ではあったが、アットホームな回答なって楽しい雰囲気の中で楽しむことができた。私のような者が進める講座ということに正直畏れ多いところではあったが、これを端緒として様々な仲間の先生方が「そんな発表なら自分が」というように、互いにじぶんの持つネタを伝え合うことができたと思う。

新しい校舎と懐かしい理科室。撤去されて行く校舎と、まさに創り上げられて行く岩村田小学校の校舎を眺めることができたことも、非常に印象的だった。また、校舎改築にあたって、理科準備室に代々保存されていた大量のけんきゅうきょうを目にすることができた。偉大な先輩方が、魂を込めた実践がその中に詰まっていた。読んでいて時を忘れるほどだった。温故知新。これから佐久理科同好会が新しいものを創り上げていくことができるような、そんな挑戦をしていきたい。

最後に、事務局の木内先生、会場の手配・茶菓子の準備のまで、大変ありがとうございました。

